

会報

やまばと

(第67号)



発行

社会福祉法人 浄泉会
秦野市渋沢2620-2
TEL 0463 (87) 1188
発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

平成三十年 新年ご挨拶 理事長 西田精吾

新年明けましておめでとうござ
います。皆様方には清々しい新年
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。旧年中は役員の皆様を始め
各行政の皆様、峠地域の皆様、各
事業所所在地の皆様、又保護者会、
後援会、浄泉会に関わりのある多
くの皆様方には何かと大変お世話
になり誠に有り難うございました。
心から厚く御礼申し上げますと
もに、本年も何卒よろしくお願
い申し上げます。

さて、平成三十年は、やまばと
学園が開設して、二十七年目を迎
えます、あと三年で創立三十周年
を迎えることとなりますが、三十
周年目にはこの平成という年号は
すでに変わっています。年号が変
わっても、私たちは年を経るごと
に重度化、高齢化して行く利用者
様にしつかりと対応してまいりま
す。今後は利用者様の安全、職員
の負担軽減等に対応するために、
AI等を活用した介護機器の投入
がかかせない時代を迎えます、例
年国際福祉機器展を欠かさず見て
いますが、昨年は二年に一回開催

される国際ロボット展を見学しま
した。年々中身が進歩、充実して
きています。しかしまだ、開発途
上にあるものも多く、実用化まで
には少し時間が必要なものもあり
ましたが、期待したいと思えます。
その機器の中では腰痛予防のため
の機器が多く出ていました。実際
に会場で使用してみました。大
変楽に重い物を持ち上げられるよ
うになってきています。ただ装着
脱に時間がかかるのが難点かと思
いました。又見守りのためのベッ
ドサイドの機器もスマホとの連動
した良いものがありました。歩行
器についても下り坂にも対応でき
ている良いものがありました。そ
の他介護浴槽、介護用自動車など
にも優れたものがあると思えます
ので、良いものは取り入れていき
たいと思えます。平成三十年度
に、経年劣化した入所施設の利用者様
の部屋の改装を行う予定です。現
在二カ所あるお風呂場を居室に改
装し、四人部屋の解消をはかり、
又新入浴棟とストレッチャヤーが搬
入できる大型エレベーターも設置
して、利用者様への快適空間を提
供すると同時に、職員の負担軽減
を図って参ります。この工事はこ

家族の皆様で立ち上げた後援会の
積立金を主に使わせて戴きそれに
法人の資金を併せて行うものです。
昨年は喫緊の課題であった駐車場
(約七十台)も備えることが出来、
職員、ご家族、お取引先等の皆様
に駐車場の心配がなく使用して戴
けることとなりました。平成三十
年度も「やまばと学園信条」に則
り、SWOT分析による強み、弱
み、脅威、機会を捉えた事業経営
計画に基づき、人権に配慮し、利
用者様の意思決定支援、合理的配
慮を踏まえつつISO、第三者評
価グレードIIのフレームワークに
沿った透明性の確保、法令遵守、
を基本とした経営を行って参りま
すので引き続き宜しくご指導ご鞭
撻賜りますようお願い申し上げます。
掉尾に当り皆々様の益々のご
健勝、ご多幸を心より祈念申し上
げまして新年のご挨拶とさせてい
たきます。



**新年あけまして
おめでとございます
保護者会会長 水谷 孜**

今年はどうな年になるか気にかかりますが、福祉支援が進化し深化する年になることを願いたい。

一昨年津久井で起きた事件を契機にして、重度障害者の意思疎通支援が重視され、専門家たちが個別に障害者と向き合い、福祉担当者のためでなく、親のためでなく、真に障害者のために障害者を支援するとはどういうことかと、模索を始めています。簡単な事ではなく、個別の施設では長年の経験に培われたノウハウがあります。継承されていくシステムが十分機能していないことが問題なのでしょう。実地支援と同じように研修時間が多くもたれていく余裕が、福祉の深化につながるのです。

幸い、やまばとでは、長年障害者に接してきた方々がおり、若い人たちに良い刺激を与えているようであり、熟達支援がスムーズに継承していきくとを願っています。



**新年に寄せて
後援会会長 加藤 明子**

新年あけましておめでとございます。

学園に娘がお世話になって二十六年。学園で初めての成人式には、沢山の方々に盛大に祝って戴き、大人の一步を迎えました。年齢を重ねていくことで、身体不調も出て、医療の面でも温かい支援を受け、学園の中での生活にも四季折々に行事プランを組み入れて頂き、楽しく快適に過ごしているのを逢った時の表情で何うことが出来、この職場でも人材不足の中、理事長、施設長を始め職員の方々が心身共に「気配り」「目配り」を第一に動いて居られる様子が班の食事会、大きな行事に目にする事が出来嬉しく思っています。又、昨年から安心安全の為に劣化してきた建物の一部をリニューアルに向けて進められて来ています。後援会員の皆様のご寄付を使わせて戴きます。今後共、今まで同様沢山の応援をお願い申し上げます。応援して戴いている皆様のご健康をお祈り申し上げます。

**ご挨拶と食事関係について
栄養士 中村 徳子**

初めまして。平成二十九年九月より産休代理で栄養士として学園で勤務している中村徳子と申します。栄養士歴では、病院、老人施設、障害者施設と幅広く勤務し勉強させて頂きました。今までの経験と知識を学園にて活用出来る様、努力していきますのでよろしくお願い致します。

昨今、食事環境が外食産業や、手軽にスーパーなどで個人購入出来る時代と共に幅広く手に入れる時代となりましたが、やはり地産地消を大事にしたいと共に、食の安全や、素材の美味しさなども大事にしたいと考えています。学園内でも年齢層が幅広い事や高齢化に伴い食形態の安全、食材の選び方によつて料理の提供の仕方を変え、利用者様の嗜好を出来るだけ汲み取る様努めます。

又ご家族の見守りの元、外食などの食事に関して食



中毒や、食べ過ぎによる体調不良には、くれぐれも気を付けて頂きたいと思ひます。

**ひばり班食事会
入所支援課 山本 伸司**

十一月二十九日にひばり班食事会を行いました。今回はコス大井松田店で昼食を取り、戸川公園ビクターセンターで事前購入したおやつとジュースをいただくというプランを立てました。



コス大井松田店では事前を選んでメニューを、戸川公園ビクターセンターではおやつとジュースを皆様美味しく召し上がりました。食事中やドライブ中も、楽しそうな表情を浮かべ、外出を満喫されていた様子でした。今年度からひばり班の班長に任命され、皆様に喜ばれる食事会ができるのかと今年度が始まったばかりの時は不安はありましたが、皆様の協力のおかげで七月と十一月の年二回の食事会を無事に終えることができました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

動物園外出
入所支援課 鈴木 貴子

「ライオンが見たい!」「富士サファリパークへ行きたい!」と
言うご要望が日々の生活の中で利用
者様から聞かれていました。テ
レビや本で見るとは、また違う
迫力ある動物の姿を見て感じて頂
きたいという思いで富士サファリ
パークへの外出を企画しました。

いざ計画を立て始めると高速道
路で他県へ移動という事で、安全
面や緊急時の対応など様々な問題
が立ちはばかりました。その度に
職員同士で話し合いひとつひとつ
問題を解決していききました。

そうして迎えた十月十九日、皆
の思いとは裏腹に雨。しかも今シ
ズンで一番の寒さとなってしま
いました。利用者様の身体への負担
や雨の中でも楽しんで頂けるかと
不安になりましたが、期待に胸を
膨らませる利用者様の笑顔に安堵
して出発。車の間近に



まで迫ってくる動物の
姿に驚き、喜ぶ姿が沢
山見られました。数カ
月立った今でも「また
行こうね」と利用者様

に声を掛けて頂き、思い出に
残る楽しい外出となりました。



絵 鈴木麻衣様

ふくろう・みみずく班食卓会
入所支援課 石田 綾子

十二月六日にふくろう・みみず
く班の食事会で開成町の開成フォ
レストスプリングス内にある、
『FS デイナー』に行ってきた

した。

山の紅葉や
雪を被った富
士山を愛でな
がら酒匂川に
向かい、自動
車学校を通り
過ぎ、小田急の鉄橋をくぐるとの
どかな田園風景に突如現れた外国
の湖!!の様な釣り場のほとりにウツ
ドデッキとログハウス。



ここでこれからご飯が食べられる
と思うと多少の持ち時間も苦にな
らず、散策しながら開店を待ちま
した。

店に入ると高い天井に暖かな薪
のストーブ。すでにセッティング
された料理を見ると凄じポリュ
ムにビックリ!! 釣り人をお客さ
んにしているからなのか、とにか
く量が多く、お魚が美味しかった
です。

いつもなら「お代わりないの?」
と聞いてくる利用者さんもとても
満足された様子でした。

お店の方の配
慮も行き届いて
おり、また是非
利用したいと思
いました。



イオンバザーに参加して
入所支援課 川口 宏美

夜間より降り続いた雨も朝方に
はあがり、少し動いただけでも汗
ばむ陽気となった十一月十一日、
イオンバザーに参加させていただ
きました。“自分達の作品が売れ
る喜びを味わえたら”との思いか
ら、二名の利用者様にも売り子と
して協力していただきました。

当日は慣れない場所で緊張して
疲れてしまわないか?外での出店
なので風邪をひいてしまわないか?
そんな心配を余所に、他の施設の
方に自分から話しかける等、嬉し
い予想外の姿があり、元気に一日
頑張ってくださいました。

途中、強風で売り場を変えるな
どのちよつとしたハプニングもあ
りつつ、無事一日を終え学園に戻
ると「楽しかった。またお願いし
ます。」と太陽のような笑顔が:
更に「もっと作業頑張ろうと思っ
たよ。」との嬉しい言葉まで:作
品が売れる喜びと共に次への意欲
にも繋がったようで大変貴重な経
験となりました。

秋祭り 入所支援課 福田 桂助

第二十六回やまばと学園秋祭りはあいにくの雨天となり、雨天プログラムでの実施となりました。今年は午前と午後の二部構成にしました。午前は綿菓子機の実演と試食、職員による腹話術の披露を行いました。綿菓子が出来るようになる様子に興味津津に見学していたり、甘くて不思議な食感に驚かれています様子もありました。また、腹話術では可愛い人形が近くにやってくる楽しそうに触れ合う利用者の方もいました。



ム満点に提供しました。「美味しいよ」とコメントを頂きました。午後は光明学園、和太鼓部の方々による大迫力の和太鼓演奏を観賞しました。太鼓の音に合わせて手を叩く方や



ステージ前に出て楽しそうに踊り出す方もいました。今年度で2年連続の雨天でしたので来年こそは利用者やご家族、地域の方々、皆さんでグラウンドに立てたやぐらを囲んで秋祭りを楽しんで頂けたら嬉しいです。



全国大会についての感想 入所支援課 篠田 侑弥

愛知県名古屋市の全国知的障害福祉職員研究大会に参加させていただきました。分科会のテーマは、「自分らしく生きる」を選択し、他の施設の取り組みを学んできました。

私が一番印象に残っているのは本人がやりたい事だけをやっていた、ただという内容です。「自分がやりたいと思う事」に取り組んでいる人の表情は特に輝いて見えました。私たちはそのサポート、利用者様が本当にやりたいと思えることを見つけて上げられるように支えていくことが仕事なのだと改めて気付かされました。私たち

は利用者様が安全に暮らせるようにと考えるあまりに利用者様が新たな事にチャレンジする機会に制限をかけているように感じることがあります。私たちは一日一日を今まで以上に大切に利用者に目を向け、互いに新たなことにチャレンジしていくことが、人が自分らしく生きる為の一步なのだと感じました。

やまばと忘年会 入所支援課主任 山崎 桂子

十二月二十七日に、平成二十九年の最後の行事である『忘年会』が行なわれました。第一部では、一年間の思い出をスライドショーで振り返り、オカリナの素敵な音色に心癒され、プレゼントタイムには仮装したプレゼントターにビックリしながらも心待ちにしていたプレゼントを受けとり、楽しいひと時を過ごしました。



第二部では、ボリウム満点のお弁当と、色とりどりのケーキをお腹いっぱい戴きました。会場内には利用者の皆さんが描い

て下さった絵や、「ありがとう」の言葉や、折り紙で作った作品が飾られ、小さな美術館の様な空間が出来ていました。心もお腹も満足で、一年最後の行事を締めくくる事が出来ました。忘年会を盛り上げて下さった『秦野オカリナ合奏団』の皆様と、忘年会を支えて下さったボランティアの方々には感謝の気持ちでいっぱいでした。有難うございました。



通所センターの活動報告 通所課長 工藤 淳

日々の日課では、自然や四季を感じる散策・受注作業のシャープペン組み立て、ボールペン箱詰め、卵パックのリサイクル・作品製作ではデコパージュ作品など、それぞれの方にあつた活動を提供しています。

天気が良い時は午前の作業後にグラウンドにベンチを出し皆で好きな飲物を飲むカフェタイムはとても好評です。



十月の作業収入還元金パーティーでは、皆さんの希望した念願の菓子パンをお祝いしながら食べました。

ある利用者の方から「給料が入ったから、そのお金を持ってコンビニで好きな時に好きなおやつを買って食べたいなあ。」という言葉はとても印象的でした。私達にとっては些細な事でもその方にとってはとても大きな希望だと感じました。

利用者の希望を常に考えながら通所センターで生きがいを持って過ごせるよう通所センター職員一同が一丸となってより良い支援を提供し続けたいと思います。



利用者作品 (ポーチ・石鹸等)

QOLの向上を目指して 入所支援課主任 佐藤恵

第三者評価が今年度も行なわれました。今回は二段階あるグレードの中からグレードⅡの評価項目を自己評価しました。その中の発展的サービス評価の取り組み内容をご紹介します。

自己評価期間に新たに実施した取り組みであり、直接利用者支援に関する内容となっている為、何を課題にするか入職二〜三年目の職員二名・中堅職員一名・主任一名のメンバーで利用者の生活の質を高めるにはどうすれば良いか、楽しみにしている場面はどこか話し合った結果

日常生活上欠かせない食事に焦点をあてることにしました



現状において欠けているものを洗いだす事からはじめ、温かい主食が提供できる様に取り組みました。厨房の職員、各階の職員が協力し合うことで実現することができました。

今後もこの経験、成功例を活かし職員が一丸となり、更なるQOLの向上を目指し支援に努めていきたいと思えます。



「あおぞらパーティー」に参加して 通所支援課 安藤進太郎

十二月十五日、入所及びグループホームの利用者様と合同で「あおぞらパーティー」に参加してきました。

あおぞらパーティーとは知的障害者の権利宣言である「あおぞらプラン」をより良くする為に障害者

自身がみんなで行なう会です。

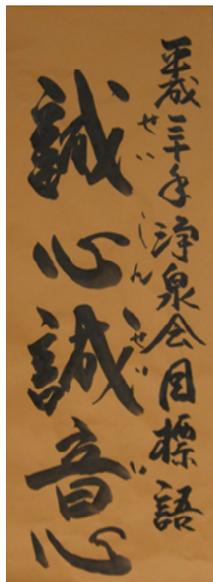
会場は大和市で行われ、今回は電車を利用して参加しました。

パーティーでは他施設の方々と話し合いを行い、あおぞらプランの更なる改訂に向けて意見を述べて来ました。

また、昼食時は仲良くなった方々を誘ってみんなで食事をしました。今回の外出は、利用者様自身が人権を考えつつ、新しい友達も増えたとても楽しいものとなりました。



平成三十年 浄泉会目標語



人事異動

平成二十九年十月～十二月入休職者

◎入職者

地域生活課 樋口 芳子

(十二月十八日付)

◎休職者

栄養士 菊地 恵子

(十一月 九日付)



編集後記

新年
明けまして
おめでとございます



『会報やまばと』第六十七号(新年特大号)は、拡大版でお届け致しましたが如何だったでしょうか？

年が明け、新たな希望の元、平成三十年がスタート致しました。二月には冬季オリンピックも始まりですが、年明け早々楽しみですね。

やまばと学園では建物のリニューアル工事が控えており、新しく建

浄泉会やまばと学園後援会の会員・賛助会員を募集しています

社会福祉法人浄泉会
やまばと学園後援会

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員 年額1口 20,000円
 個人会員 年額1口 10,000円
 賛助会員 年額1口 3,000円
 会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)
 どの郵便局でも 00220-5-14491 です。
 口座名は 浄泉会やまばと学園後援会
 新しく会員になられる方はご住所を電話等
 でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 後援会係担当
 〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2
 Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

やまばと学園

リニューアルしました！
 ホームページ
<http://yamabato.org/>

メールアドレス
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

てられる入浴棟や、改修される居室棟に、不安もありながらも、期待に胸膨らむ年となりそうです。今年も皆様にとって、幸多き年となります。様、お祈り申し上げます。(山崎)

